

奥能登で「グリーンアスパラガス」の 産地づくりに取組んでいます！

奥能登農林総合事務所

輪島市東部にあるJA町野町では、生産者の高齢化によりかぼちゃ等の重量野菜の栽培が伸び悩んでいました。このため、当事務所では、JAと協議し、かぼちゃに代わる品目として、市場ニーズがあり、軽くて高齢者でも扱いやすい「グリーンアスパラガス」の産地化に平成22年度から取り組んできました。

産地化に向けて、当事務所では、市場から求められている長期継続出荷のための栽培技術の確立と選別調製作業の効率化に取り組みました。

県内には長期どりの栽培事例がないことから、JAと連携し、平成23年から24年にかけて、県外の先進事例研修を実施し、土づくりや肥培管理、収穫期間の判断方法等、技術のポイントを勉強しました。生産者は、栽培技術の研修とあわせて、市場との信頼関係を構築するには、鮮度保持や出荷規格の厳守等品質管理を徹底することが大切だと学びました。

当事務所では、先進地の栽培管理技術を参考にアスパラガスの栽培指針を改訂し、栽培講習会を開催し、技術の普及に取り組んでいます。

一方、生産量の増加に伴い出荷調製に労力がかかるようになりました。このため、JA、輪島市と協議し、先進事例を参考に市が選別機械を整備しました。今春からこの機械を活用した共同選別が開始されました。

平成25年の出荷は4月22日から始まり、9月下旬までに6tの出荷（昨年度の約1.5倍）を見込んでいます。今後は、ハウス栽培やトンネル被覆による出荷の前進化に取り組む、関係者が一丸となって「グリーンアスパラガス」の産地化に取り組んでいきます。



アスパラガス生産者の皆さん



共同選別施設での出荷目合わせ会

問い合わせ先：奥能登農林総合事務所農業振興部
(0768-26-2323)